

もくじ

■ ごあんない

2 季節のたより 156 「クサボケ」 / もくじ

■ まちよりのたより

- 4 埼玉県議会議員一般選挙のお知らせ
- 6 生き生き活動センターだより / 森の癒しで健康に「とき森らっくす」
- 8 「和の祭典」 「カラオケ祭」 の出演者募集 / ときめき塾参加者募集
- 10 埼玉美術展覧会の作品募集 / 狂犬病予防注射を実施
- 12 パパ・ママ応援ショップ優待カードが新しくなります / ときがわ町健康づくり推進条例を制定

■ グラフときがわ

14 ど根性桜 / 小中学校へ教育備品を寄贈 / 小川警察署・民生委員・町で防犯訪問 / 上サ・スケート場「氷まつり」

■ スポーツときがわ No.51

16 熟年オリンピック / 体育協会各部活動写真 / データファイル (10月～12月) / 硬式テニス教室参加者募集

■ Information 暮らしの情報

- 18 こそだて / ほけん / そうだん
- 20 そうだん / ぼうはん / かんきょう / としょかん
- 22 じょうほう
- 24 1人1日50gのごみの減量を！ -vol.11- / 町民文芸 俳句 / 3月の広報カレンダー

【表紙】上サ・スケート場で行われた氷まつりの様子。賑わう人々と、ぼんやりと美しく光る夜空とスケートリンク。

【裏表紙】某有名選手が氷まつりに出現！？
いいえ、コスプレ撮影でした！

広報ときがわ【第158号】平成31年2月22日発行
編集・発行 ときがわ町総務課
〒355-0395 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川2490番地
TEL 0493-65-1521(代表) FAX 0493-65-3631
ホームページアドレス <http://www.town.tokigawa.lg.jp>
メールアドレス info@town.tokigawa.lg.jp

防災行政無線テレホンサービス(無料) ☎080-0800-8432

人口と世帯 (2月1日現在)
総人口 11,210人(-7人) ※0は前月比
1月の動き 出生 2人 死亡 13人
転入等 24人 転出等 20人
男 5,661人(-3人) 女 5,549人(-4人)
世帯数 4,721世帯(+9世帯)
過去のデータはHPで見ることができます。

ときがわ町の位置
東経 139度
北緯 36度
海拔 64m
面積 55.90 平方m



季節のたより 156

早春の原野で、

1日も早い『サクラ』の開花を促すように開花する

クサボケ



【クサボケ】
裏表紙にカラー写真を掲載しています

「春一番」が荒れ狂い、冬の気を一時に吹き払い、いよいよ桜のシーズンの到来です。といっても「サクラ」の開花にはまだ間がありますが…。この時季、植物の世界はというと、それぞれに、急に訪れるかもしれない冬の気象への対応を考えたり、或いは逆に気温の急な上昇にどう対応したらよいかと、目の回るような雑事に追い回され同情の手を差し伸べてやりたいような気持ちにさせられるところです。さて今日は、こんな時季にこんな花がと一瞬目を見張るような花（知る人ぞ知る）が咲き出す時季でもあるので、そうした中の一つ「クサボケ」について書いてみたいと思います。

「クサボケ」（「ノボケ」ともいいます。）は「ばら」科の植物で、本州・九州に分布し、春の日差しが強い土手の日だまりなどでよく見かけることができます。形態は、茎は木質で、地ぎわから枝分かれして群がって立ち上がり、刺状をした枝をしています。葉は互生して、葉身は倒卵形で、長さ2～5cm、縁には鋸歯があります。3～4月、葉よりも先に開花し花期は比較的長いようです。花は径約2.5cmで緋赤色、花弁は5枚で基部は爪状をしています。花には雌雄の別があり、花後、径2～3cmの果実を実らせ、熟すと黄色になります。名前は「ボケ」の仲間。「丈」が低く野草のように見えるところからついたということ。別名「ジナシ」（地梨）とも呼ばれ、花後、地ぎわ（地面に触れるようなところ）に、「ナシ」のような実をつけるところからついたといわれています。「クサボケ」の仲間には「ボケ」「カリン」などに加え、多くのバラの仲間や、遠縁ですが「サクラ」「ウメ」なども入ります。



写真・文 / 小林一公さん
(大字本郷)

生活との関わりは、果実は生薬名を「和木瓜」（ワモッカ）といわれ、昔から民間薬として珍重されているようです。酸味が強いが果実酒にすると、滋養強壮や疲労回復に効果があるといわれています。また、生の果実はリユーマチに効くとか、或いは乾燥させた果実を煎服すると、利尿作用、脚気や浮腫によいとも伝えられています。また、庭木、盆栽、切り花用に植えられ、茶花としても利用されているようです。この時季になると、今は昔ですが、小学校唱歌に歌われた「菜の花畑に入り日薄れ、見渡す山の端、霞ふかし…云々」の風景を思い出します。これから「コブシ」が咲き、「白木蓮」「ヤマザクラ」と続き、「サクラ」の季節に突入するというわけですが。季節の変わり目というのと、とかく体調を崩しやすくなるものですが、こんな時季、しっかりと体調を整え、「サクラ」は勿論、次々と彩りを変えてゆく野草の開花にもじっくりと付き合いたいものです。